



「自主・自律・連帯」12月号 ～1年が経つのは早いもので～

本当に1年経つのは早いもので、12月を迎えました。地域の皆様方におかれましては、お変わりございませんでしょうか。また、平素は本校教育の充実に変わらぬご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、1年の締めの日となりました。本校では、この秋からコロナの状況も若干減少傾向ということもあり、予定していた様々な行事を行うことができました。その一部を紹介させていただきます。

◆県新人戦が行われました

先月号でお知らせしたクラブが、県大会に出場し素晴らしい成績を収めました。主な団体戦の試合結果は、次のとおりです。このほか、個人戦でも多くの生徒が健闘しました。

○男子体操部	団体	優勝
○女子体操部	団体	2位
○女子柔道部	団体	2位
○女子バスケットボール部		3位
○男子テニス部	団体	3位



◆やっと修学旅行に行けました

修学旅行については、当初は5月に予定していましたが新型コロナウイルスの影響で6月に延期しました。しかし、感染の状況が治まらず8月に再延期しました。しかし、まだ治まらず10月に再々延期し、10月18日～20日の日程でようやく行くことができました。行き先は、昨年度に引き続き三重県です。生徒たちの笑顔いっぱいの修学旅行となりました。



主な見学場所

1日目	ナガシマスパーランド
2日目	鳥羽水族館・志摩スペイン村
3日目	伊勢神宮・おかげ横丁



◆情報通信の安心安全な利用のための標語コンクールを行いました

スマートフォン等の適切な使い方を知り、安心・安全な利用のための標語コンクールを行いました。最優秀賞と優秀賞については、文化発表会で表彰しました。

最優秀賞 「その言葉 本当にいいの 考えて」

1年1組 大西 うた

優秀賞 「消したくても 消しても広がる 君のこと」

3年2組 峯 佑希

優秀賞 「画面から 心のすき間 ねらってる」

2年2組 齋藤 澤

公民館だより 令和3年12月号

西部

発行：西部公民館
館長 中西ひとみ 主事 津田祐司
電話：26-4925 FAX：25-6029
事務所：田辺市高雄一丁目23番1号
田辺市民総合センター内

未来へつなぐ道
JUNCTION TO THE FUTURE 田辺市



西部地域シンポジウムの開催について

平成30年3月に田辺市教育委員会が策定した「第2次田辺市生涯学習推進計画」及び「第2次田辺市地域生涯学習計画」の前期基本計画期間が令和4年度をもって終了することから、人口減少及び少子高齢化、家族形態やライフスタイルの多様化など地域や市民生活を取り巻く環境の変化等に対応するため、後期基本計画を策定します。

田辺市教育委員会では、そうした社会情勢をはじめ市民の学習ニーズの変化を行政として把握するとともに、地域住民がお互いに地域のことを話し合う場を提供するため地域シンポジウムを開催します。

- 主催 田辺市教育委員会
- 企画協力 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus
- 日時 12月20日（月）19：00～21：00
- 会場 西部センター 2階集会室
- 内容
 - 地域生涯学習計画に基づく取組の成果と課題
報告 公民館主事 「前期計画3年間の振り返り」「地域カルテから見た課題」
 - ミニ講演
演題 「次の田辺を共に創る：～自治を支える学習～」
講師 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus 准教授 西川 一弘 先生
 - グループワーク
テーマ 「今後5年間（後期計画）の目標や課題を話し合う」



- 申込方法
参加を希望される方は、事前に下記の公民館事務局まで電話でお申し込みください。

- その他
本シンポジウムは、田辺市教育委員会（生涯学習課）が運営し、田辺市社会教育委員が運営を支援します。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により中止又は延期となる場合があります。

- 問合せ 西部公民館 事務局 ☎26-4925

人権合同研修会を開催しました

11月11日（木）、西部センター2階集会室にて令和3年度田辺市生涯学習（人権）推進委員会・田辺市人権擁護連盟合同の研修会を開催しました。

今年度の研修会は、和歌山県紀南児童相談所長である伊藤尚人様に「児童相談所と児童虐待」をテーマに講演をしていただきました。

講演では、児童相談所が果たす機能や県内の児童相談所の組織体制をはじめ、児童相談所に寄せられる相談やその後の対応の流れ、児童虐待の実態について自らの経験を交えた内容でお話をいただきました。

新聞やテレビを通じて児童虐待による悲しい事件が報道されていますが、和歌山県内でも相談や一時保護されるケースは度々発生しており、私たちの身近な所でも発生していることが分かりました。

子どもたちの尊い命を守るため、万一身近で「もしかしたら虐待かも？」と思った場合は迷うことなく児童相談所に通報しましょう。



【児童相談所全国共通3桁ダイヤル】 189（いちばやく）

◆通報は匿名で行うことも可能です。

◆通報者や通報内容に関する秘密は守られます。

※本研修会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講演をDVDに収録したものを各公民館で視聴しました。

救菜レシピ11・12月号を発行！

同じ料理ばかり食べている・料理が余る。

このような食生活と料理をお助けする「救菜レシピ」の11・12月号を発行しました。

今回は、祭事の時によく食べる巻き寿司！余って固くなった巻き寿司を美味しく食べるためのレシピ等を紹介しています。

そしてアイデア料理も「巻き寿司」です。

男前巻きと美人巻を紹介！どんなお寿司がお楽しみに！



◆地域と共にある学校を目指して

11月も終わりに近づき、朝夕の空気が冷たく感じられるようになってきました。

新型コロナウイルス感染症の状況も全国的に大変少なくなってきており、当地方においても落ち着いた状況が続いていますが、油断することなく感染予防対策を継続していきたいと考えています。

さて、このような状況の中、1学期からこれまでは『守り』のみに集中してきましたが、感染状況を考慮に入れながらではありますが、これからは『守りながら攻める』にシフトして学校教育活動を展開していきたいと考えています。とりわけ、これまでは様々な制約の中で保護者や地域の方が学校に来ていただいて、学校の様子を知っていただいたり、共に子どもたちの学びを作り上げたりすることができませんでした。このことについては、徐々に再開させていきたいと考えています。その先陣として、11月8日から14日の学校開放週間中、10日、14日の参観日を検温や手指消毒等の感染対策を行いながらではありますが、一斉で行いました。特に14日の参観日には、多くの保護者や地域の方に来校していただくことができました。また、その後の子どもクラブの体験会についても、多くの参加があったとのことでした。

本校は明治22年10月16日に西方寺の裏に開校し、明治43年からは現在地で地域の方々に支えられながら、教育活動を行ってきました。「清心自立」の文字も創立100周年記念事業に関わった学校や地域の方々の思いが込められています。

今後は、新型コロナウイルス感染症の予防を行うことはもちろんですが、保護者や地域の方に学校に来ていただいたり、児童が地域に出向いたり、「守りながら攻める」これまで培ってきた地域と共にある学校づくりの取組を進めていきたいと考えています。新型コロナウイルス感染症も今後どのようなになるのか分からない状況ですが、今後とも学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

◆学校開放週間

11月8日から14日の間、学校開放週間でした。開放期間中は、校内絵画展、参観授業、クラブ参観、田中助産師を招いての命の授業、青少年センター職員を招いての防犯教室等、地域の方や保護者の方を招いていくつかの行事を行いました。また、西部子どもクラブでは、体験会が行われこちらも70名程度の参加がありました。



◆地域の方より

10月下旬に学校に一通のはがきが届きました。地域の匿名の方からのお便りでした。

学校でも児童会役員が毎日体育館前に立ち、登校してくる児童に元気な声で挨拶してくれています。また、その挨拶にどの児童も元気な挨拶を返しています。日々の何気ない日常ですが、この日常が地域の方を元気づけることができたと知り、大変うれしく思いました。

このようなお声ひとつが児童の実感につながり、次の行動を生み出す力になると考えます。

本当にありがたいお言葉でした。ありがとうございました。

「杖つきて 舗道を行けば おはようの 子らの挨拶 コロナ禍飛ばす」

